

石岡「ギター文化館」

地元彫刻家が作品寄贈



寄贈された作品と、大槻さん(左から3人目)ら

石岡市柴間のギター文化館に、同市出身の彫刻家、大槻孝之さん(63)の鉄製の彫刻作品が寄贈され、このほど除幕式が開かれた。大槻さんは、「ぎょう鉄」という造船の技術を使って彫刻を制作する国内唯一の彫刻家。現在は日本大学芸術学部の教授も務めている。寄贈した作品は、タイトル「昼と夜/Day and Night」で、高さ270㌢、幅250㌢。同市に隣接する桜川市の加波山をモチーフに、1枚の鉄板から制作した。作品正面からは、難台山と吾国山が望め、裏からは、光が透けて流れ星のように見える細工が施されている。「来館された皆さんに、音楽と里山の風景、すばらしい彫刻を楽しんでいただけたら」と、同館館長の池田由利子さん。